



11月の旧暦を「霜月」といいますが、気持ちのいい秋の季節はすぐに終わり、冬の寒さを感じるようになってきました。定期テストや職場体験もある11月ですが、多古中学校では読書月間もあります。今年は17日(月)から始まるので、楽しみにしててくださいね♪

11月24日は和食の日

「いい(11)に(2)ほんし(4)よく」と読む語呂合わせから、「和食」の大切さを再認識するきっかけにしておうと、一般社団法人和食文化国民会議が制定しました。

// 『初恋料理教室』 藤野恵美：著

ポプラ社

京都にある路地の奥の長屋では、土曜日限定の料理教室が開かれています。愛子先生の元へ通うのは年齢も職業も国籍も違う4人の男性です。それぞれが抱える思いに寄り添う温かい料理に、皆さんの心も満たされること間違いなしです。

// 『食いねえ！お寿司まるごと図鑑』 福地享子：監修

偕成社

今では海外でも「SUSHI」として知られる和食の代表、寿司の全てがわかります。さまざまな知識や歴史まで、オールカラー写真で紹介するビジュアル百科事典。

// 『テーブルマナーの絵本』 高野紀子：作 あすなろ書房

お箸や器には、決まった置き場所があることを知っていますか？お箸の持ち方や使い方、器の持ち方など、和食のマナーもちろん、外食をする時のマナーもあります。

この本を読んで、今度食事をする前にお箸や器の準備を手伝ってみてはいかがでしょうか？



11月の誕生石 トパーズ (和名：黄玉) 宝石言葉：友情・希望・潔白

＜謎が多いほうが、魅力的に見える＞

古代ギリシャや古代ローマで、太陽や黄金の象徴として愛されたトパーズ。その中でもオレンジ色のインペリアル・トパーズは、19世紀ブラジルの皇帝ドン・ペドロが王冠に用いたことから「インペリアル(皇帝)」という名がついたという説があります。

◆ 『ももこの宝石物語』 さくらももこ：著 集英社
地球の青色をしたパライバ・トルマリンとの出会いから始まる、さまざまな宝石にまつわるエッセイ集。おもしろエピソードが満載です。

10月27日～11月9日は 読書週間です

＜読書週間のはじまりは？＞

終戦2年後の1947年に「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもとに、たくさんの人々の力で第1回読書週間が開催されました。

《今年の標語》

2025・第79回 読書週間
10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



この本、読んでみませんか？ (前期図書委員 陽莉さんのおすすめ)

『そして、バトンが渡された』

瀬尾まいこ：著

文藝春秋



幼い頃に母を亡くし、父とも海外赴任を機に別居し、継母を選んだ主人公の優子。その後も大人の都合に振り回されて、高校生の今は20歳しか離れていない“父”と暮らしています。血の繋がらない親の間をリレーされながらも、出会う家族みんなに、たくさんの愛情を受けます。そして、自分が一生の伴侶を持つときに思うこととは？ 本屋大賞を受賞し、映画化もされた作品です。ぜひ読んでみてください。